

くしろ市議会だより

News from Kushiro City Assembly

くしろ市議会だより
2022年8月 No.75

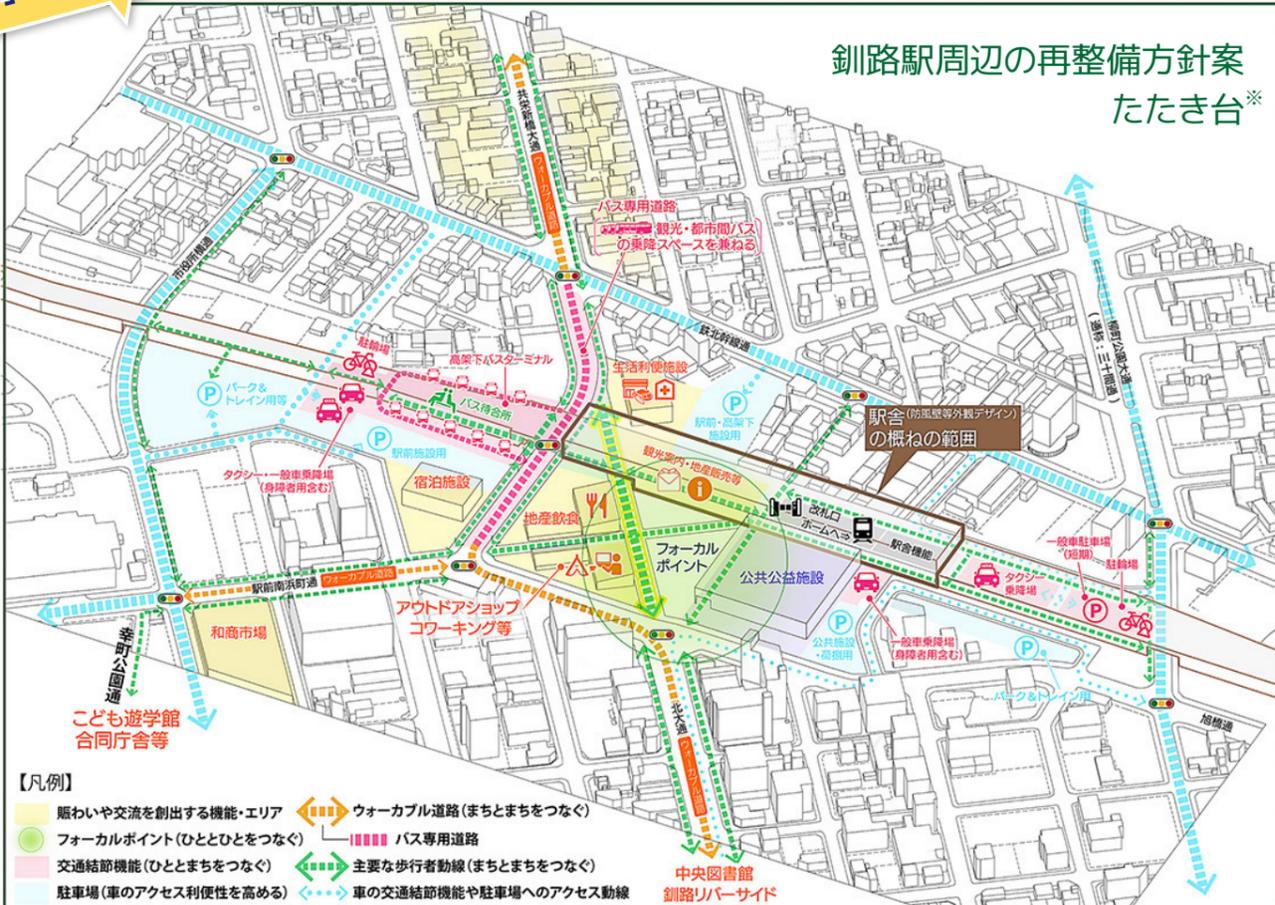
委員会審査ピックアップ……………1P
本会議(質疑・一般質問)……………2P
議会報告会についてほか……………3P
定例会審議結果ほか……………4P

くしろの市民の皆さんと
くしろ市議会の
懸け橋となる情報紙



令和4年6月定例会が開催されました。今議会の概要をお伝えします。

Pick Up! 駅周辺再整備のイメージ示される



※このたたき台は、議論を深めるための参考であり、確定したものではありません。
※特に、バスターミナルなどの交通結節機能、鉄道施設、バス専用道路の線形については、現在関係機関と調整中であり、今後変更されることもあります。

「釧路駅周辺のまちづくりに係る市民説明会」について

都心都市街地整備 特別委員会
大澤 恵介 委員長
理事者から、「これまで市民の皆さまからは、『市が想定する、人を中心とする空間のイメージが浮かばない』、『単にオープンスペースを配置するだけでは人は集まらないと思う』等の意見をいただいた。市民説明会では、現時点での検討内容を反映した図を用いて分かりやすく説明し、『都心部を車優先から人と公共交通中心の空間に変える』という大きな目標について、より一層の市民理解を深めていきたい。」との報告がありました。

再構築後の北大通の断面図



Pick Up 「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」新校舎の整備は

総務文教常任委員会 三木 均 委員長

「釧路市がめざす学校のすがた基本計画(たたき台)」(計画期間:令和4~13年度)について市内小中学校の統合・再編を進める中で、小中一貫教育を推進し、施設一体型の義務教育学校を設置する方針が示されました。

委員会での主な質疑

- Q 既存の小中学校の校舎を活用した計画を進める方針が示されたが、義務教育学校の設置と併せて新校舎を整備する考えはないのか。
- A 本計画は、子どもたちにとって最適な教育環境がどうあるべきかという視点で策定した。10年間の計画の中で新校舎を整備する考えは持っていないが、今後、地域懇談会等での意見も踏まえ、学校再編後も使用するとした校舎は、必要に応じて増改築整備を行い、釧路市立学校施設長寿命化計画との相互の関係性をしっかり考えながら進めていきたい。

Pick Up くしろ港まつりの開催

・大漁ばやし、音楽パレード→会場変更
・市民踊りパレード→中止

経済建設常任委員会 秋田 慎一 委員長

新型コロナウイルス感染症のため2年間中止されていたくしろ港まつりについて、感染対策を講じた上で開催することが報告されました。

委員会での主な質疑

- Q イベント時の感染対策はどんな内容か。また、人口が減少する中、今後の港まつりの在り方を検討すべきではないか。
- A 国の制限に基づく来場者の入場管理が必要なため、場所を耐震・旅客船ターミナルに変更し、遮蔽資材で囲む。また、入場時に、氏名や連絡先を把握し、クラスター発生の際に確認できるようにする。港まつりの在り方については、今後の役員会で検討していきたい。



Pick Up 市立病院の新棟建設、令和10年度の開院を目指す計画

民生福祉常任委員会 佐藤 勝秋 委員長

市立病院の新棟建設について、基本設計/令和4年9月末まで
実施設計/令和5~6年度
建設/令和7~10年度
開院/令和10年度
を目指す計画が示されました。



委員会での主な質疑

- Q 以前の計画では、市立病院にバスのターミナルのような要素を持たせ、バスの中継地点になるとの考え方があったかと思うが、病院敷地内にバスターミナルを設置する計画はあるか。
- A 周辺道路の拡幅を含む辺り一帯の整備を関係部局により取り組む計画となっており、市立病院が乗換拠点になることは今後も変わらないと考える。バスターミナル設置の詳細は、今後、関係部局と協議されるが、市民の利便性を損ねないように検討されていくと考える。

次回の9月定例会は9月7日(水)午前10時から開会の予定です。

本会議

質疑・一般質問

■議員13名が、付議議案や「市の一般事務」について、日頃から感じている疑問や、新たな行政課題への対応など、それぞれの視点でテーマを決めて質問しました。

6月15日(水)



創志会
大越 拓也
議員



「子どもたちにとって最適な教育環境の確保を」

問 「釧路市がめざす学校のすがた基本計画」は、あくまでたたき台であり、7月4日から28日まで市内14カ所で地域懇談会を実施し、地域の声を聞いた後、素案を作成することのだが、状況によっては計画案を部分的に変更する場合もあり得ると考えてよいか。

答 内容は確定したものではなく、地域懇談会で丁寧に説明した上で、保護者や教員、コミュニティスクール関係者、地域から意見を伺い、学校のあり方検討委員会での議論に反映したい。



共産党
西村 雅人
議員



「加齢性難聴者への補聴器購入費助成制度を」

問 加齢性難聴者への補聴器購入費を助成する自治体が増えている。市でも他市の事例を参考にして制度設計を考えるべきではないか。

答 国では、身体障害者手帳を持つ高度難聴者等に対して、補聴器の購入費を助成する制度がある。一方、聴覚以外にも視力の衰えなどにより補装具や用具等を必要とする方も多いため、市独自の補助制度を設けるのではなく、国が定めた制度の範囲の中で対応すべきものと考えている。



公明党
河合 初恵
議員



「自治体マイナポイントの導入を」

問 物価高騰の中、市民生活の安心のための還元策として、国のマイナポイント^{※1}に、市独自のポイントを上乘せした自治体マイナポイントを導入してはどうか。マイナンバーカードの交付率向上にもつながるのではないかと。

答 自治体マイナポイントは、現在、国において制度設計が行われている。市としては、その動向を注視しながら、連動して交付率が上がるよう取り組んでいきたい。



自政ク
伊東 尚悟
議員



「^{※3}スポーツコーディネーターの設置を」

問 スポーツはまちづくりに大きな役割を持ち、その可能性は大きい。幅広い分野にまたがるスポーツ関連の施策推進や課題解決のため、スポーツコーディネーターを設置すべきではないか。

答 スポーツ分野における課題解決のため、釧路市スポーツ協会では「スポーツ普及促進部会」を設置して検討を進めており、市としても、この課題解決に人材の設置は有効な手法の一つと考えることから、他都市の状況などを研究していきたい。

6月16日(木)



市民連合
板谷 昌慶
議員



「釧路市奨学金返済支援事業の周知拡大を」

問 優秀な人材確保と釧路市への定着を目指し、今年度から開始された釧路市奨学金返済支援事業のさらなる周知が必要ではないか。

答 同事業は、特に若い世代の人材確保を目的としており、できるだけ多くの方に情報を届けることが重要と考えている。ホームページ等での周知や市内及び札幌圏の大学等への情報提供に加え、協力企業にも採用活動における周知を依頼しており、今後もさまざまな機会を活用し、周知に努めていきたい。



共産党
工藤 正志
議員



「旧市立釧路図書館の今後の方向性は」

問 旧市立釧路図書館の建物・敷地の今後の方向性について、釧路駅の高架化よりも優先して進めるべきであり、また、協議会などを設けて市民の声を取り入れながら検討すべきではないか。

答 まちづくりを進める上で市民が一体となって参画できるよう優先順位をつけながら進めている。公有資産マネジメントの観点から、どういった形がいいのかを考えながら一つ一つ対応していきたい。



公明党
月田 光明
議員



「带状疱疹予防接種に費用助成を」

問 带状疱疹は80歳までに3人に1人が発症すると言われており、発症・重症化予防に効果が高いワクチン接種は費用が高額である。市として助成できないか。

答 助成制度導入の検討については、受診状況等の現状把握に努めていく必要がある。また現在、国では定期接種化に向け、期待される効果や安全性について議論が進められていることから、その動向を注視していきたい。



自政ク
大澤 恵介
議員



「若者の意見を直接政策に反映を」

問 世界をリードするイノベーション^{※4}を起こせるのは、自由な発想ができる若者である。若者の意見を直接政策に反映をさせることで、自分たちがまちづくりに参画している意識を持つことができ、この街に暮らし続けたいと思ってもらえるようになるのではないかと。

答 これまで、若者ふれあいトークなど、さまざまな機会でも意見を聴く場を設けてきた。今後若者の意見を直接的に政策に反映させる取り組みは必要だと思うので、何ができるか検討していきたい。

6月17日(金)



共産党
村上 和繁
議員



「支所廃止の方針は一旦撤回を」

問 9回行われた支所の在り方に関する住民説明会では、支所廃止に反対する意見が圧倒的であることから、支所廃止の方針は一旦撤回すべきではないか。

答 説明会の参加者の中では反対が圧倒的に多かったことは認識している。そこで出された意見にどのように対応できるのか、検討していきながら進めていきたい。



自政ク
三木 均
議員



「^{※5}財政健全化推進プランの見える化を」

問 財政健全化推進プランは達成額が目標額を上回って推移しており、来年度にも当初目標を達成見込みである。この上回り分の用途は何か。また、平成28年度以降の毎年の目標額と達成額を公表すべきではないか。

答 現在までの上回り部分は、減債基金などに積み、まちづくり基本構想などを推進する事業に投資してきた。また、同プランは計画初期の検証が重要なため効果額を公表してきたもので、28年度以降の公表は考えていない。



共産党
梅津 則行
議員



「学校統廃と、廃止の方針の支所が重なる地域の今後のビジョンは」

問 統廃合に関する学校が、廃止の方針が示されている支所・分室周辺の地域に集中している。その後の地域ビジョンについて検討したのか。

答 それぞれの地域に愛着を持って住んでいる人がいることを受け止めた中で、暮らしということを最優先に考えながら、環境や機能の整備とそれをつなぐ公共交通の確保など、一つ一つの施策を実施している。



自政ク
草島 守之
議員



「音別エミュー農場の再開に向けた支援を」

問 4月に発生した高病原性鳥インフルエンザにより音別のエミュー事業が停止しているが、音別地域活性化に欠かせない存在であるエミュー農場の再開の見込みと今後の支援策について聞きたい。

答 エミュー農場の今後については、事業者の意向により方向性が示されるものと考えている。市としても、これまで地域の振興に寄与している大切な事業と認識しており、今後の状況を把握した上で、どのようなことができるか検討していきたい。

② 議員名の右に掲載しているQRコードから、スマートフォン等により録画中継をご覧ください。

市議会ホームページで発言通告一覧をご覧ください。



用語解説

※1 マイナポイント

(公明党 河合議員)

マイナンバーカードの普及や活用を促進するとともに、消費を活性化させるため、キャッシュレス決済サービスで利用できるポイント。

マイナンバーカード新規取得者に最大5,000円分のポイント、健康保険証としての利用申込や公金受取口座の登録を行った方にそれぞれ7,500円分のポイントが付与される。

※2 自治体マイナポイント

(公明党 河合議員)

マイナポイント事業を通じて、決済サービス事業者との連携の仕組みを備えたものを活用し、決済サービス事業者との連携により、自治体が多様なポイント給付施策を実施するもの。



市民連合
佐藤 勝秋
議員



「街路灯整備費補助制度の拡充を」

問 町内会が管理するLED型街路灯が耐用年数を迎えている。更新に係る費用に対する補助率(現行10分の1)を早期に見直し、町内会の負担の軽減を図るべきではないか。

答 街路灯補助金制度は、社会状況の変化に応じて制度の創設や見直しを行っている。今後の更新について財政的支援が要望されていることから、町内会の実態を把握するためのアンケート調査を実施しており、その結果を踏まえて検討していきたい。

用語解説

※3 スポーツコーディネーター

(自政ク 伊東議員)

オリンピックや世界選手権などに出場したアスリートとしての経験を生かし、競技スポーツの振興やスポーツによる地域活性化を進めていく上で、行政と住民、スポーツ団体等をつなぎ合わせる人材のこと。

※4 イノベーション

(自政ク 大澤議員)

それまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れ、新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすこと。

※5 財政健全化推進プラン

(自政ク 三木議員)

将来的に予想される釧路市の収支不足約265億円を、市の支出の見直しなどによって平成23年度から令和8年度までの16年間で287億円を確保するもの。

委員会審査

今定例会では、予算決算常任委員会と3常任委員会および2特別委員会の審査を行いました。1面に掲載した委員会以外の審査内容をお知らせします。

石炭対策・関連エネルギー調査特別委員会 月田 光明 委員長

国の海外産炭国への炭鉱技術移転等事業
「水際対策での研修生の受入態勢について」

委員会での主な質疑

◎「釧路コールマイン(株)で実施される国の『産炭国に対する石炭採掘・保安等に関する技術移転等事業』の研修事業について、新型コロナウイルス感染症に係る水際対策の中、研修生をどのように受け入れるのか」との質問がありました。

▲理事者は、「6月1日から入国時検査及び入国後待機期間の見直しがあり、ワクチン接種3回接種済みの証明書があればスムーズに入国できるようになった。ワクチンの種類によっては日本国で認められていないものもあるとのことで、その確認も含め、釧路コールマイン(株)で受け入れ研修の実施に向け準備を進めている。」と答えました。

予算決算常任委員会 酒巻 勝美 委員長

今定例会の予算決算常任委員会は、6月20日から22日まで各分科会において補正予算に関する付託議案について審査を行い、23日の委員会において各分科会委員長から審査報告を受けた後、市長総括質疑を行い、24日に採決を行って閉会しました。

概要

各分科会審査では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費に関わる公共施設感染防止対策事業や給食食材高騰対策事業、中小企業・小規模事業者活性化推進事業、生活困窮者食料等支援事業などのほか、企業版ふるさと納税による寄附金や赤潮対策支援事業費などについて質疑がありました。

議員とおしゃべりしませんか! 議会報告会の開催日が決まりました。

「市民に分かりやすい開かれた議会」を目指して実施しているもので、今年は、**議員と気軽に様々なおしゃべりをしていただく時間帯と、参加者を原則40代までとする会場**を新たに設けました。

当日参加も可能ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等により収容人数が制限される場合もありますことから、電話やメールでの事前申込をお願いします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。(参加無料)



昨年の議会報告会の様子

開催日	時間	会場
10月28日(金)	18:30~20:00	コア鳥取
10月31日(月)	18:30~20:00	釧路市役所内 ※参加者は原則40代まで
11月1日(火)	18:30~20:00	音別町コミュニティセンター
11月2日(水)	18:30~20:00	阿寒町公民館
11月4日(金)	10:30~12:00	中央図書館

参加申し込み・お問い合わせ

TEL 31-4581 (議会事務局)
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp



右のQRコードからメールで申し込むこともできます。

政務活動費の公開

政務活動費は、市政に関する議員の調査研究等の活動のために交付されており(1人月額4万円)、令和3年度の執行額等の実績は右表のとおりとなっています。

収支報告書や出納簿、領収書等も公開しており、市議会ホームページや市役所1階の市政情報コーナーで閲覧できます。

◎令和3年度 執行額等実績

会派名	交付額(円)	実績額(円)	返還額(円)	執行率(%)
自民市政クラブ(9)	4,320,000	2,363,981	1,956,019	54.72
市民連合議員団(5)	2,480,000	132,812	2,347,188	5.36
公明党議員団(5)	2,400,000	713,982	1,686,018	29.75
日本共産党議員団(4)	1,920,000	1,149,048	770,952	59.85
釧路に新しい風(2)	1,200,000	407,249	792,751	33.94
新創クラブ(2)	960,000	300,116	659,884	31.26
合計	13,280,000	5,067,188	8,212,812	38.16

※()内は令和4年3月31日時点の会派議員数

会派略称説明

自政ク 自民市政クラブ
創志会 創志会

公明党 公明党議員団
共産党 日本共産党議員団

市民連合 市民連合議員団

3常任委員会が行政視察を実施

先進事例などを調査

総務文教・経済建設・民生福祉の各常任委員会所属議員は、所管する事務に関する審査等の参考とするため、各地の先進的な取り組みなどを調査しました。

総務文教常任委員会

- 令和4年5月16日(月)～18日(水)
- 愛知県西尾市、広島県呉市を訪問



西尾市 LINEを活用した行政手続

LINE経由で上下水道使用開始の届出をはじめとする各種申請などを可能とし、市民の利便性を高めている。

呉市 呉市が進める小中一貫教育

平成12年に全国に先駆けて研究をスタートし、19年度からは市内の全中学校区で小中一貫教育を実施している。

【参加議員】

三木 均 梅津則行 伊東尚悟 高橋一彦
西村雅人 松尾和仁 月田光明 松橋尚文
板谷昌慶 岡田 遼

経済建設常任委員会

- 令和4年5月30日(月)～6月1日(水)
- 宮崎県日南市、同串間市を訪問



日南市 森林環境譲与税を活用した林業の振興と後継者対策

過酷な労働環境への対策や、林業を担う後継者や労働力確保を目的とした助成・補助制度、地域材の活用を促進させるための支援事業を設けている。

串間市 水産養殖の展開と独自ブランド創出

ブリ養殖で全国的な成功事例である黒瀬水産(株)は、人口種苗を用いた事業展開をしている。

また、市全体では農林水産物の付加価値向上による産業の振興や、6次産業化の取り組みにより交流人口を拡大させ、「地方創生の実現」を目指している。

【参加議員】

秋田慎一 大越拓也 金安潤子 続木敏博
河合初恵 松永征明 工藤正志 酒巻勝美

民生福祉常任委員会

- 令和4年5月23日(月)～25日(水)
- 兵庫県姫路市、岡山県岡山市を訪問



姫路市 生涯現役推進計画

生涯にわたり、主観的健康感を良好に保ち、目的をもっていきいきと活動していける社会を実現するための計画として策定された。

岡山市 病児保育事業

事前登録は不要で、利用の際に各施設において登録申請を行う仕組み。また、県内施設の相互利用に関する協定も締結されている。

【参加議員】

佐藤勝秋 大澤恵介 山口光信 松原慶子
草島守之 畑中優周 宮田 団 村上和繁
(粟屋剛議員は都合により不参加)

令和4年第3回6月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(承認)となったもの(16件)

		市 長 提 出	議 案
予 算	令和4年度 一般会計補正予算(議案第33号)	そ の 他	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定に関する件
	令和4年度 動物園事業特別会計補正予算		財産取得の件(業務用端末)
	令和4年度 病院事業会計補正予算		財産取得の件(除雪グレーダ)
	令和4年度 一般会計補正予算(議案第45号)		財産取得の件(全身用X線CT診断装置)
条 例	職員退職手当支給条例の一部を改正する条例	専決処分	工事請負契約の締結に関する件
	税条例等の一部を改正する条例		専決処分報告の件(令和4年度一般会計補正予算)
	阿寒町サイクリングターミナル・丹頂の里保養センター条例の一部を改正する条例		専決処分報告の件(税条例及び都市計画税条例の一部を改正する条例)
		議 員 提 出	議 案
意 見 書	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか8大臣)		
	環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣)		

◎ 賛否が分かれたもの(5件)

○賛成 ×反対

		市 長 提 出	議 案
件 名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5) 市民連合(5) 創志会(4) 共産党(4)
そ の 他	釧路公立大学事務組合の共同処理する事務及び規約の変更に関する協議の件	○	○ ○ ○ ×
		議 員 提 出	議 案
意 見 書	令和4年度北海道最低賃金改正等に関する意見書(提出先:北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会会長)	×	○ ○ ○ ○ ○
	地方財政の充実・強化に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか5大臣)	×	○ ○ ○ × ○
	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣)	×	○ ○ ○ × ○
	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を求める意見書	×	× ○ ○ × ○

◎ 請願・陳情(4件)

○採択 ×不採択

件 名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※	公明党(5) 市民連合(5) 創志会(4) 共産党(4)
陳 情	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るために医師、看護師、医療技術職員、介護職員の大幅な増員を求める意見書の件	×	× ○ ○ × ○
	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るために公立・公的病院の再編統合や病床削減方針の見直しを求める意見書の件	×	× ○ ○ × ○
	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るために保健所の拡充と保健師等の大幅な増員を求める意見書の件	×	× ○ ○ × ○
	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るために75歳以上の医療費窓口負担2倍化の中止を求める意見書の件	×	× ○ ○ × ○

※自政クの議員数は9人ですが、松永議長が採決に加わっていないため8人としています。

議員連盟の総会を開催しました

6月24日(金)、6月定例会本会議終了後、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟が総会を開催しました。また、日台友好促進議員連盟、日韓友好促進議員連盟、アイヌ政策推進議員連盟が書面会議による総会を開催し、決算報告、予算案等が承認されました。

【永年在职議員表彰】

全国市議会議長会から、右記 ◆議員在职25年以上/畑中 優周 議員の議員が表彰され、今定例会に ◆議員在职20年以上/高橋 一彦 議員先立ち、議長から表彰状が伝達されました。 宮田 団 議員